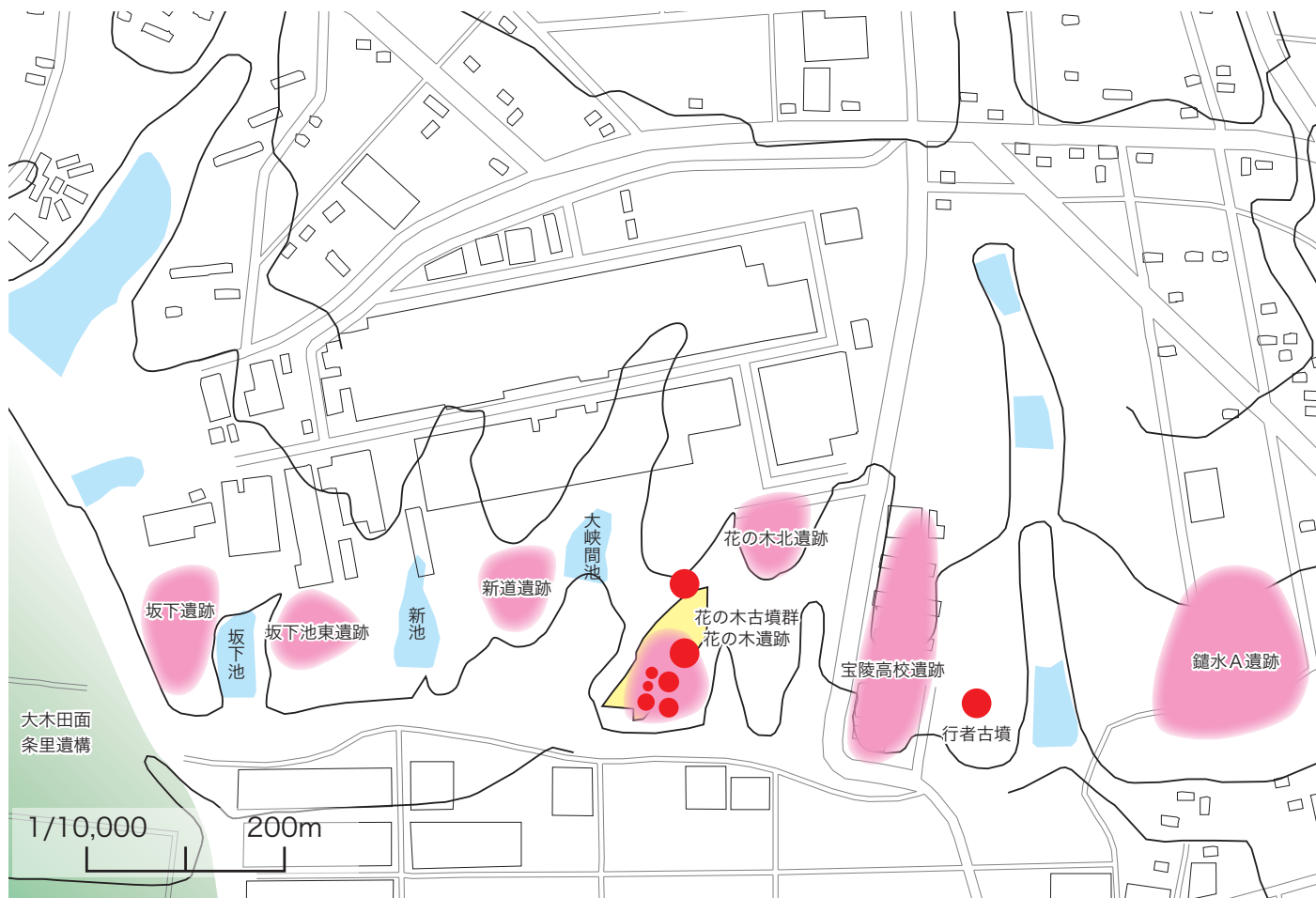




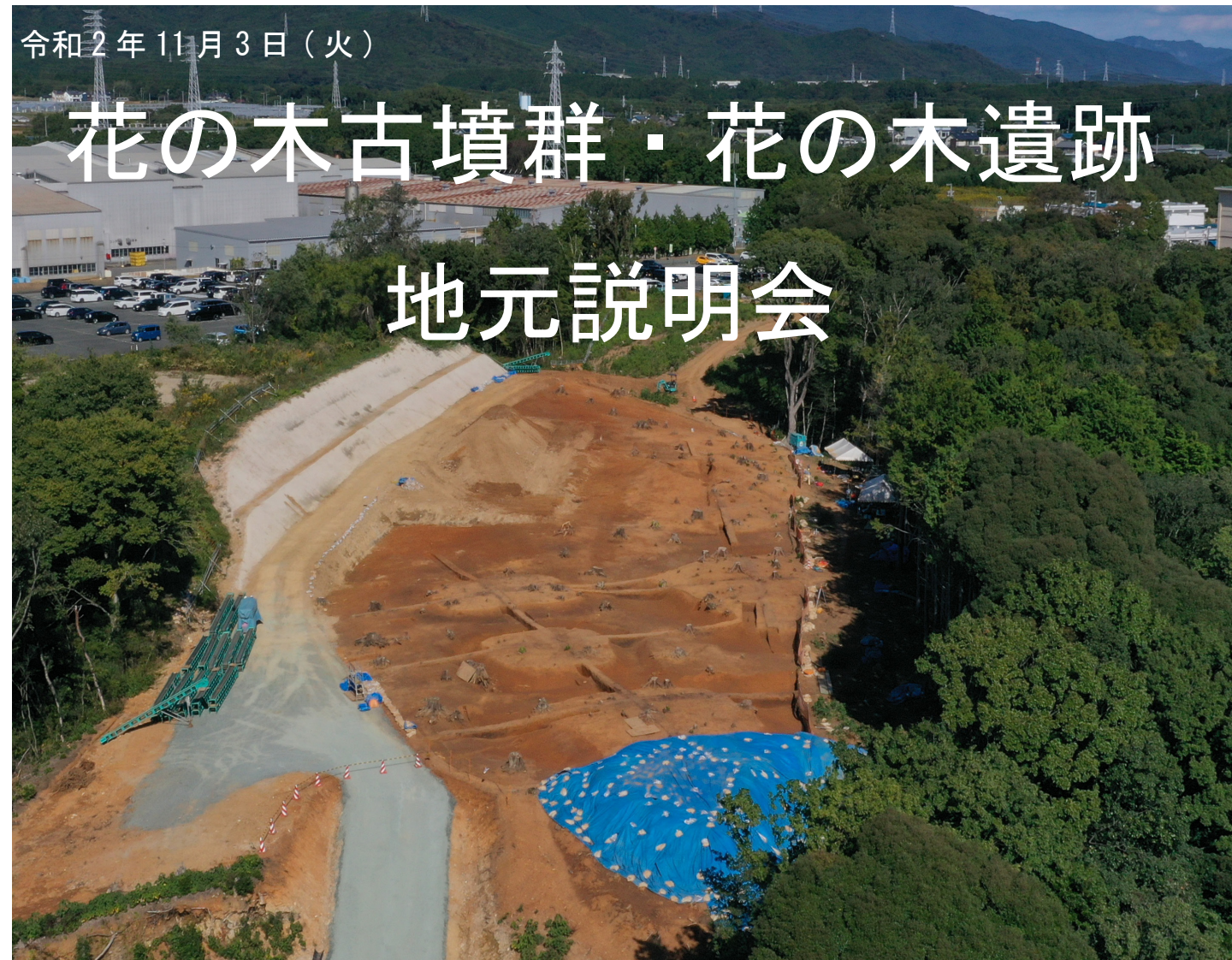
本宮山麓から広がる扇状地の末端、西原（さいばら）台地縁辺には弥生時代中期から後期の遺跡が数多く分布しています。花の木遺跡東隣の宝陵高校遺跡は昭和 45 年に学校建設の際に発掘調査が行われ、10 棟以上の竪穴建物、多数の弥生土器や石器類が見つっています。

豊川市には 440 基の古墳があります。花の木古墳群は 7 基の古墳からなる古墳群です。花の木 2 号墳は直径約 30 m の円墳で、昭和 43 年に住軽伸銅（当時）工場建設の際に発掘調査が行われました（今回、再発掘しています）。埋葬施設には 3 基の木棺が納められていたようで、人骨や勾玉などの装身具、剣などが見つっています。近くの小金古墳や薬師古墳（足山田町）と同じく、古墳時代前期から中期にかけての（4 世紀後半から 5 世紀前半）の古墳で、古墳時代中期（5 世紀後半）の念仏塚古墳群（大木町）よりも古い古墳と考えられます。

~~~~~

調査主体 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター  
〒 498-0017 愛知県弥富町前ヶ須町野方 802-24 TEL: 0567 - 67 - 4163  
ホームページ: <http://www.maibun.com/>  
Twitter [https://twitter.com/aichi\\_maibun](https://twitter.com/aichi_maibun)  
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

受託者: 安西工業株式会社  
名古屋支店 TEL: 052 - 769 - 6500  
現場代理人 TEL: 090 - 3704 - 3565 (中谷)



調査主体: 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

調査支援: 安西工業株式会社

# 花の木古墳群現況図

花の木古墳群では現在 6 基の古墳が確認されています。古墳群が築造されたのは古墳時代前期から中期と考えられます。今回の調査を行っている古墳は 4 号墳を除いた 5 基となります。

2 号墳については昭和 43 年に埋葬施設と墳丘の調査が行われています。その際に鉄剣や勾玉等が出土しました。

5 号墳  
築造時期：古墳時代前期  
古墳の形：方墳  
規模：約 10 m 四方



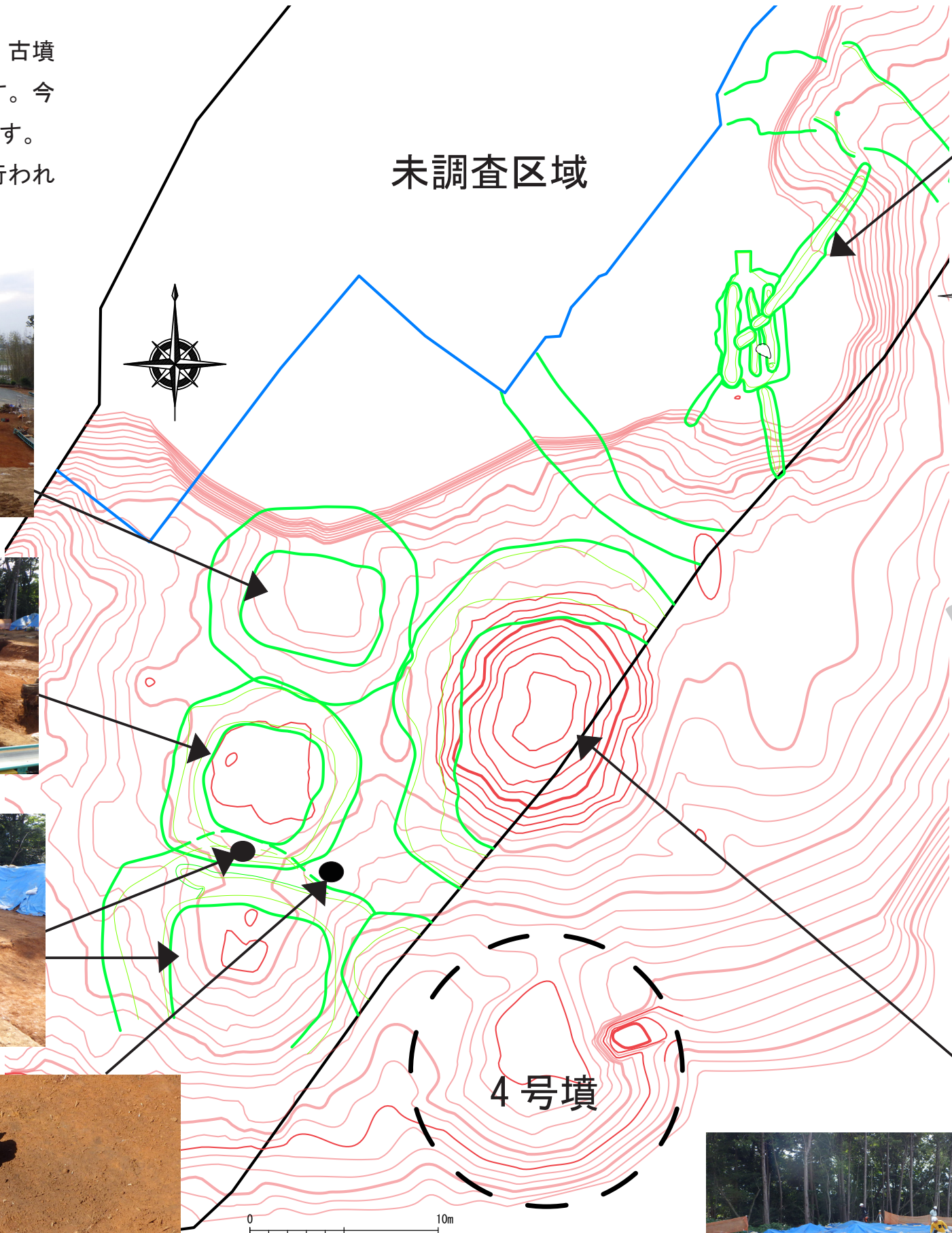
6 号墳  
築造時期：古墳時代前期  
古墳の形：方墳  
規模：約 10 m 四方



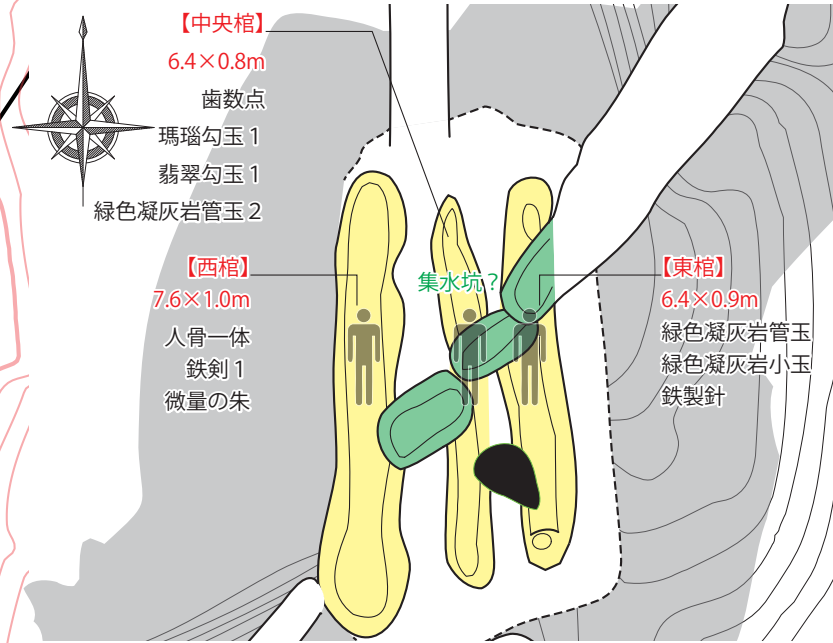
7 号墳  
築造時期：古墳時代前期  
古墳の形：方墳  
規模：約 12 m 四方



6 号墳と 7 号墳間の周溝や 7 号墳の周溝外でお供えされたと思われる土器が出土



2 号墳  
築造時期：古墳時代中期  
古墳の形：円墳  
規模：直径約 30 m  
昭和 43 年時の記録の通り三つの棺を納めたとされる掘り込みを確認。当時の出土遺物は鉄剣や勾玉等



3 号墳  
築造時期：古墳時代前期  
古墳の形：方墳  
規模：約 15 m 四方

